

取扱説明書

告知放送端末
AFM-610C

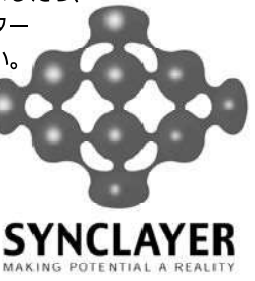
（1）ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みの上、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

（2）本書の内容の一部又は全部を無断で転載することは、固くお断りします。

（3）本書の内容につきましては万全を期しておりますが、記入もれなどのお気付きの点がございましたら、ご加入のCATV局または放送センターへご連絡なくお申しつけください。

（4）本書の内容を適用した結果の影響につきましては、（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

（5）本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。



FF133-03A

MAKING POTENTIAL A REALITY

安全上のご注意

絵表示について	
この「取扱説明書」及び製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。	
	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告又は注意）が描かれています。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制する内容を告げるものです。図の中に具体的な内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜く）が描かれています。

 	万一、煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用しますと、火災・感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、ご加入のCATV局または放送センターへ修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
	万一、本機の内部に異物が入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてから、ご加入のCATV局または放送センタ

	へで連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）、引っばったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）ご加入のCATV局または放送センターへ交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。
	本機に水が入ったり、本機がぬれたりしないようにご注意ください。風呂場で使用したり、本機の上に薬品や水などの入った容器を置いたりしないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	雷が鳴り出したらケーブル類、機器には触れないでください。感電の原因となります。
	本機のカバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。機器の点検・調整・修理はご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。
	本機を改造したりしないでください。また、本機の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。機器の点検・調整・修理はご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。
	本機を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
	乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。
	ペットなどの生物が本機の上に乗らないようにご注意ください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたりしてけがの原因となります。
 	万一、本機を落としたり、破損した場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

	湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
	本機に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れたりして怪我の原因となることがあります。また、本機の上に物を置かないでください。本機が変形し、火災・感電の原因となることがあります。
	本機の上に他の機器を載せたり、本機を他の機器の上に載せないでください。他の機器の発熱によって本機内部の温度が上がり、故障の原因になることがあります。
	直射日光の当たる所や、湿度の高い所（締め切った自動車内など）に置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプターを持って抜いてください。コード部分を引っばるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	ぬれた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	お手入れの際や移動させる場合は、必ずACアダプターをコンセントから抜いて外部との接続コード（同軸ケーブルなど）をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いて、乾電池を取り出してください。電池の液漏れで火災、けがや周囲を汚損する原因と

	なることがあります。もし液漏れの場合は、ご加入のCATV局または放送センターへご相談ください。
	新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	乾電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると乾電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。
	本機の取付工事には専門の技術と経験が必要です。ご加入のCATV局または放送センターへご相談ください。

設置と接続

本機は屋内専用の電子機器です。設置は以下の点に注意してください。

（1）設置方法

- 本機は平置き・自立・壁掛けの設置が可能です。

（2）壁掛け設置方法

- 本機を壁掛け設置する場合には、下図寸法に従って取り付けてください。
- 使用するねじは、ねじ頭径7〜9ミリ、ねじ径3.5〜4ミリです。（壁面からの隙間が少ないと固定できませんので注意してください）

（単位：mm）

- 本機は十分な強度ならびに、使用するねじ深さのある壁面への設置をお願いします。
- 同軸ケーブルや電源コードの自重が加わらないように適宜ケーブル類を固定してください。

（3）RF 入力接続

- RF入力にケーブルテレビの同軸ケーブルを接続します。ケーブルテレビ同軸ケーブルに付属のL型コネクタをを接続（締め付けトルク：2 N・m(20kgf・cm)）し、本機のRF入力端子にしっかりと接続します。

⚠注意

持ち出し時などでケーブルを外して使用した場合、使用後は必ずケーブルを接続してください。ケーブルを接続しないと告知放送を受信できません。

（4）AC アダプターの接続

- 付属のACアダプターの電源プラグをDC9V入力端子に接続します。
- ACアダプターの本体側プラグを家庭用コンセントに挿します。

⚠警告

付属のACアダプター以外は絶対に使用しないでください。機器の破損、火災などの原因となります。

⚠注意

持ち出し時などでACアダプターを接続しない場合、ラジオ放送の受信などの使用時以外は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。電源スイッチが「入」の場合、告知放送やラジオ放送を受信していない“待機中”でも乾電池を消耗します。

（5）自立スタンドの取り付け

- 付属の自立スタンドを使用しての設置が可能です。

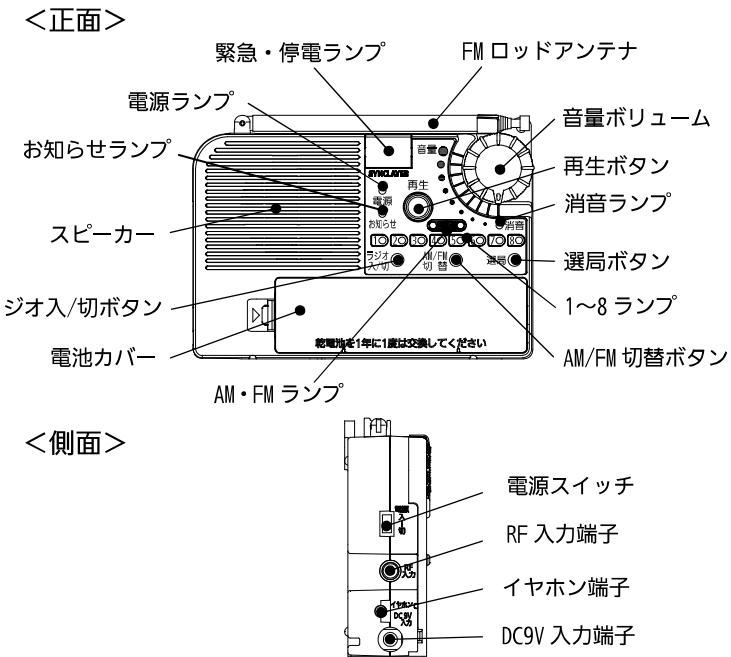
⚠注意

- 極端な高温や低温の場所や、直射日光の当たる場所での使用は避けてください。
- 衝撃や連続的な振動の加わる場所は避けてください。
- 腐食性環境などでの使用は避けてください。
- 水がかかったり、薬品に触れるおそれのある場所は避けてください。
- 電源は交流100ボルト50/60ヘルツの家庭用コンセントを使用し、タコ足配線は避けてください。
- ぐらついた台の上など不安定な場所は避けてください。
- スピーカー穴をふさがないでください。
- 雑音や誤作動の原因となりますので、携帯電話・スマートフォン・パソコン等の電波を発する機器からは遠ざけてください。

（6）携行用ストラップの取り付け

- 持ち出し時などに便利な携行用ストラップ（付属品）を取り付けることができます。

各部の名称



告知放送の受信

- (1) 本機の電源を入れる
- ACアダプターを接続する、または乾電池をセットし、電源スイッチを「入」にします。
 - 電源ランプが約5秒間の速い点滅後、ピップ音とともに点灯にかわり動作可能となります。
 - ランプの表示を確認します。電源を入れた直後の状態は、消音時の消音ランプ点灯を除き他のランプの表示はありません。
※故障かな?・・・の (4) ランプの表示 参照

- (2) ケーブルテレビ告知放送の受信
- 放送センターからの告知放送は緊急放送と一般放送があります。告知放送が行われると、お知らせランプが点灯してスピーカーから音声が流れます。
 - 緊急放送は大型の緊急ランプが点滅し最大音量で流れます。(緊急放送開始から最大音量で流れますが音量調節は可能です)

- (3) 音量の調節
- スピーカーから流れる音声の音量を調節できます。
 - 告知放送受信中またはラジオ受信中などに、音量ボリュームを回して適当な音量に調節してください。
 - 音量ボリュームを最小にすると、消音ランプが点灯し音量を消すことができます。(消音)
 - 消音の状態で緊急放送が開始されたとき、自動的に消音は解除され最大音量で放送が流れます。(一般放送のときは消音のままです)

⚠注意

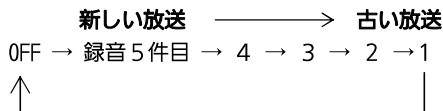
過度の力でボタンを押したり、音量ボリュームを回すと破損する恐れがありますのでご注意ください。

- (4) 放送の再生
- 本機は告知放送を録音しています。未再生の放送があるときはお知らせランプがゆっくり点滅します。
 - 放送1件あたりの録音時間は約3分もしくは約2分で、最大で合計約10分です。(仕様により異なります)それ以上の放送は録音しません。

メモ

録音件数は放送センターにより異なる場合があります。詳しくはご加入のCATV局または放送センターへお問い合わせください。

- 3件もしくは5件を超えた録音の場合は、一番古い放送から順に消去、新しい放送を録音します。
- 再生**ボタンを押すと録音されている放送の一番新しいものから順次再生します。また、再生中に**再生**ボタンを押すと次の放送へスキップします。
一番古い放送の再生中に**再生**ボタンを押すと再生を終了します。



- 再生中は1〜5ランプで再生件数/録音総数を表示します。
- 再生**ボタンを5秒以上長押しすると、ビップ音が鳴り録音内容をすべて消去します。
- 電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜いても録音内容は消去されません。
- 再生中に告知放送が行われた場合、再生を中断して告知放送を受信します。告知放送の受信中に再生はできませんが、ラジオ放送受信中は再生することができます。

AM/FM ラジオの受信

- (1) FM 放送の受信 (ケーブルテレビ FM 再放送)
- 告知放送を行われていないときに、FM放送を聴くことができます。
 - ラジオ入/切**ボタンを押し**選局**ボタンを押します。1〜8ランプで選局中のチャンネルを表示します。
 - ラジオ入/切**ボタンを押すと切れます。
 - FM放送を聴いているときに告知放送が行われた場合、自動的に告知放送に切り替わり、告知放送終了後にFM放送の受信に戻ります。(地上波FMラジオも同様)

メモ

放送局名・チャンネル数は、放送センターにより異なります。ご加入のCATV局または放送センターへお問い合わせください。

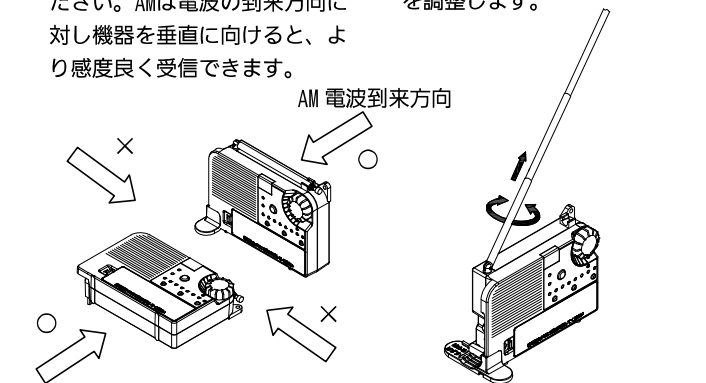
- (2) AM/FM ラジオの受信 (地上波 AM/FM ラジオ)
- 宅外への持ち出し時などでケーブルをはずしたときや、断線事故などによりケーブルが接続されていないときは、地上波FMラジオを聴くことができます。AMラジオはケーブル接続状態に関係なく聴くことができます。
 - AMとFMで受信アンテナが異なります。感度良く受信するためにそれぞれアンテナの向きを調整します。

AMラジオ

本体内蔵アンテナで受信します。機器を動かしながら調整してください。AMは電波の到来方向に対し機器を垂直に向けると、より感度良く受信できます。

FM ラジオ

ロッドアンテナで受信します。ロッドアンテナを伸ばし、感度を調整します。



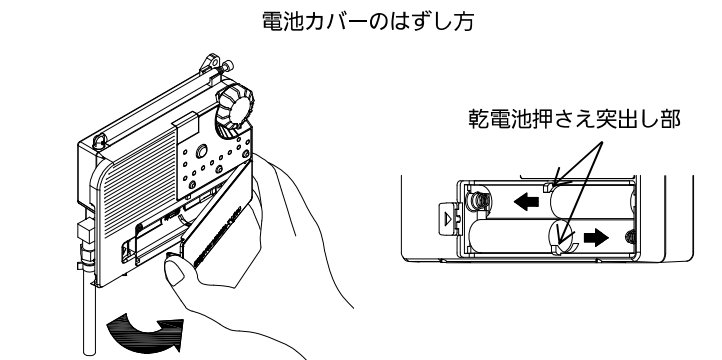
- ケーブルテレビFM再放送のときと異なり次の機能が使用できます。**シーク選局**・・・ラジオを聴いているときに、**ラジオ入/切**ボタンを1秒間長押しすると、シーク動作を開始し受信可能な放送局があると止まります。(上側周波数)

- (7) イヤホンで聴く
- φ3.5プラグ付きのイヤホン(市販品)をイヤホン端子に接続します。接続するとスピーカーからは音は出なくなります。
 - 音量ボリュームで調節が可能です。
 - 告知放送やAM/FMラジオを聴くことができます。(モノラル)

- (8) 停電時の動作
- 機器動作中に停電が発生した場合、停電ランプが自動で点灯します。点灯時間は約1分ですが、点灯中でもボタン操作により消灯します。
 - 電池動作時(ACアダプターが接続されていないとき)、電源スイッチを「切」→「入」した場合も停電ランプが点灯します。

乾電池のセット・交換

- 電池カバーをはずして、単三形乾電池4本を＋に注意してセットしてください。



- 乾電池が飛び出さないよう乾電池押さえ突き出し部がありますので、スライドさせながらセットしてください。
- 電池カバーを閉じます。
- 乾電池の交換のときも同様に行います。

⚠注意

- 使用方法にもよりますが、停電状態がなくても乾電池の寿命は約1年です。電源ランプが点滅しなくても1年に1度は交換してください。
- 乾電池を交換するときは4本とも同種類の新品の乾電池に交換してください。
- 交換をしないと液漏れにより機器が破損する恐れがあります。
- 乾電池は市販のマンガン電池、アルカリ電池をご使用ください。充電電池は使用できません。新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池は停電時のバックアップ用です。設置場所の移動など一時的にコンセントから抜く場合は、乾電池の消耗を防ぐため乾電池をはずすか電源スイッチを「切」にしてください。

故障かな?・・・修理を依頼される前にもう一度確認

- (1) 電源ランプが点灯しない
- ACアダプターは確実に接続されていますか。
 - 電源スイッチが「入」になっていますか。
- (2) 告知放送が受信できない
- ケーブルは正しく接続されていますか。
 - 音量が小さく(消音)になっていませんか。
- (3) FM 放送が選局できない
- ケーブルは正しく接続されていますか。

- 音量が小さく(消音)になっていませんか。
- FM放送が放送されていますか。

(4) ランプの表示

ランプ表示		動 作
緊急	速い点滅	緊急放送受信中です。異常ではありません。
停電	点灯	停電時または電池動作時での電源投入時に、約1分間白色で点灯します。
電 源	点灯	電源が正しく入っています。
	点滅	乾電池がセットされていないかまたは容量が低下しています。乾電池をセットまたは交換してください。(5秒間に1回消灯します)
	速い点滅	電源投入時のみ約5秒間点滅し点灯にかわります。異常ではありません。
お知らせ	点灯	告知放送受信中です。異常ではありません。
	点滅	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。またケーブル断線の可能性がありますので、ご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。
消音	点灯	消音状態です。異常ではありません。
1 ～ 8	点灯	ラジオ放送の受信中です。選局したチャンネルのランプが点灯します。
	順次点灯	放送センターから本機に必要なデータのダウンロード中です。異常ではありません。
	点滅	録音の再生中です。異常ではありません。
	遅い点滅	未再生の録音があります。異常ではありません。(5秒間に1回点灯します)
その他の ランプ表示	速い点滅	機器内部の異常です。 1〜4ランプが1個あるいは複数点滅します。消灯しないときはご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。
		機器内部の異常の可能性があります。ご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。

- 正常に動作しないときは、**一度電源スイッチを「切」→「入」します。**その上でもう一度確認を行ってください。それでも正常に動作しないときは、ご加入のCATV局または放送センターへご連絡ください。

主な仕様

- (1) 製品仕様
- 受信周波数 70〜95MHz (告知放送、FMラジオ含めて) 522〜1620kHz (AMラジオ放送)
 - 入力レベル範囲 30 ～ 80dBμV
 - 入力インピーダンス 75Ω (F形接栓座)
 - 最大音声出力 0.5W
 - 電源バックアップ時間 待機時約24時間、ラジオ受信時約8時間 (乾電池の性能などにより変わります)
 - ACアダプター、乾電池 DC9V 300mA、単三形 4本
 - 消費電力 5W以下
 - 使用温度、湿度条件 0 ～ 40℃、20 ～ 80%
 - 外形寸法 148mm×98mm×38mm (突起部含まず)
 - 質量 約0.4kg (ACアダプター含まず)

- (2) 付属品
- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 取扱説明書(本書) | 簡易操作説明書 | ACアダプター |
| 携行用ストラップ | L型コネクタ | 自立スタンド |
- (3) 別売品
- | | |
|----------|-----|
| 壁掛け用取付ねじ | 乾電池 |
|----------|-----|

お問い合わせ先